

海岸防災林再生

「みずほの森プロジェクト」への取組み

2014年3月

みずほフィナンシャルグループ
みずほ銀行

<みずほ>のネットワークと震災復興支援体制



出向者の派遣状況

岩手県産業復興
相談センター4名

盛岡市
商工観光部1名

宮城県産業復興
相談センター3名

東日本大震災事業者
再生支援機構2名

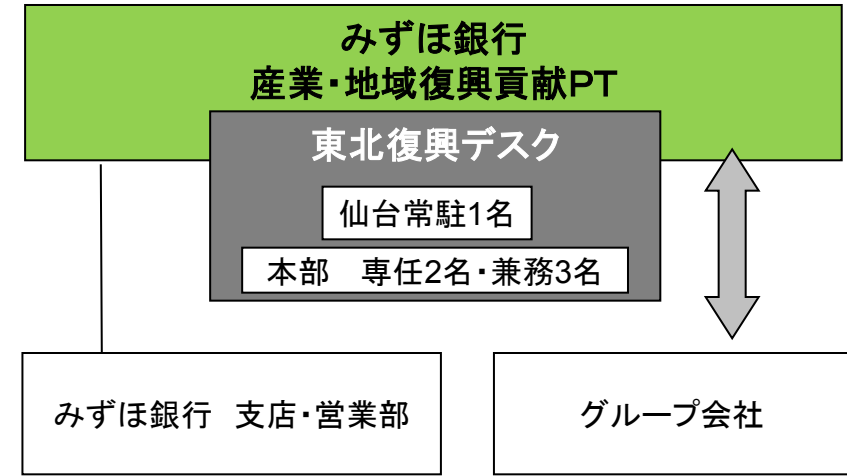
宮城県
震災復興・企画部1名

総務省
東北総合通信局1名

福島県産業復興
相談センター1名

- <みずほ>は東北全県に拠点を有する唯一のメガバンクで、**銀行10拠点**、**信託銀行1拠点**、**証券6拠点**を持つ。
- <みずほ>は**グループの総力を挙げて震災復興支援に取り組む方針**であり、みずほ銀行に産業・地域復興貢献PTを設置、PTの中に「東北復興デスク」を設置し、専担者を仙台市、東京に置き対応中。
- 震災復興支援の一環として、企業の二重ローン問題に対応する組織に多数人材を派遣している他、官公庁・地公体へも人材を派遣。

<みずほ>の震災復興支援体制



<みずほ>の震災復興支援への取組み

「みずほの森プロジェクト」の認知度向上、参画意欲高揚とともに、<みずほ>の復興支援活動をグループ社員に周知することを目的に、啓発ビデオを作成。

震災の風化を抑制

MIZUHO みずほWeb

ホーム > CSR > 復興応援！私たちの活動記録 > 私たちの震災復興支援:動画再生(Flash)

私たちの震災復興支援:動画再生(Flash)



東日本大震災による海岸防災林の被害

海岸防災林の被害状況

東日本大震災の津波による青森、岩手、宮城、福島、茨城、千葉の6県の海岸林の浸水被害は約**3,660ha**で、このうち、甚大な被害を受けた海岸防災林は**1,718ha**

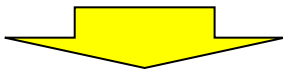
<被災3県の被害状況>

岩手県	浸水面積	164ha	その約6割が甚大な被害
宮城県	浸水面積	1,753ha	その約4割が甚大な被害
福島県	浸水面積	295ha	その約7割が甚大な被害



海岸防災林の機能

- 海岸防災林は潮害、飛砂、風害の防備等の災害防止機能を有し、**農地や居住地を災害から守る**など、地域の生活環境の保全に重要な役割
- 海岸部の美しい景観を維持・形成
- 古くから地域住民により造成・維持管理されてきているなど、歴史的な経緯から地域社会と密接な役割



地域住民の**生活の再建**、**農業の再生**には海岸防災林の再生が不可欠

(資料提供: 独立行政法人森林総合研究所)

<みずほ>での取り組み ～ 「みずほの森プロジェクト」

「みずほの森プロジェクト」 概要

➢ 津波で甚大な被害を受けた福島県いわき市の海岸防災林の再生に、社員ボランティアを派遣し、県や市、地域住民と連携して取り組むプロジェクト

長期のコミットメント
(6年間)

- 対象地域：福島県いわき市下大越地区（新舞子海岸約2.27ha）
- 協定期間：2013年4月24日～2019年3月31日（活動期間:2014年10月～2019年3月）
- 協定者：みずほフィナンシャルグループ、福島県、いわき市、下大越共有山林組合

スケジュール



協定締結式（2013年4月24日）



「みずほの森プロジェクト」の対象地区



対象地域 ~ 新舞子海岸

○いわき駅から車で20分程度の、夏井川河口付近の2.27ha

【新舞子海岸】

いわき市の太平洋岸に南北約7Kmに伸びる防潮保安林で、全体で約70haに及ぶ。江戸時代、磐城平藩の藩主が植林したのが始まり。

植栽地域の現況

- 防波堤(高さ 3.6m)は完成
- 対象地の整地、盛土もほぼ完了し、植栽に適するまで6カ月間程度寝かせる計画



植栽方法 ～ クロマツの「コンテナ苗」

- 対象地域2.27haに、**1ha当たり1万本**のクロマツの苗を植栽予定（約2万3千本）
- クロマツの苗は「コンテナ苗」を使用。コンテナ苗は、すぐに根づくことができるため成長が速いことが特徴。
- コンテナ苗専用の植栽器具を使うことで、通常の植樹に比べて、短時間で大量の植栽が可能。

コンテナ苗



- ・コンテナトレイで育成し、トレイからは簡単に引き抜き可能。
- ・トレイを段重ねで運ぶことができ、運搬も容易。



コンテナ苗専用の植栽器具



コンテナ苗の育成状況



- ・福島県が県内の業者に委託して育成中。
- ・クロマツのコンテナ苗の価格は600円程度/本（通常苗は300円/本）
- ・クロマツの種の一部は、島根県が復興支援として寄付してくれたもの。

海岸防災林の植栽活動イメージ

福島県・きずなの森再生プロジェクト「新舞子海岸植樹祭」(2013年3月23日)への参加
～ 「みずほの森プロジェクト」の協定に先立ち、福島県いわき市の新舞子海岸で行われた植樹祭に有志10名で参加



「みずほの森プロジェクト」第一弾ボランティア活動 ～2013年10月

海岸防災林の植栽開始:2014年秋 ⇒ 協定締結(2013年4月)から植栽開始まで1年半

プロジェクト対象地での
ボランティア活動実施

復興支援「市民マラソン」の会場整備のボランティア活動を実施。
社員ボランティア75名、地域の方々、福島県及びいわき市の職員の皆さま、総勢約100名が参加

作業風景

～ マラソン会場となる公園の草を刈り、片づける作業を実施



昼食時の風景

地域の方々との交流



被災地物産フェアの開催

農林漁業、食品業支援のため、物産フェアを継続開催。
2012年度：9回開催、2013年度：8回開催。

継続性

福島物産フェア(2013年5月)



宮城物産フェア(2013年10月)

むすび丸がやってきた



農林漁業6次産業化ファンドの組成

とうほくのみらい応援ファンド  青森県  岩手県  秋田県  山形県

ファンド総額：20億円

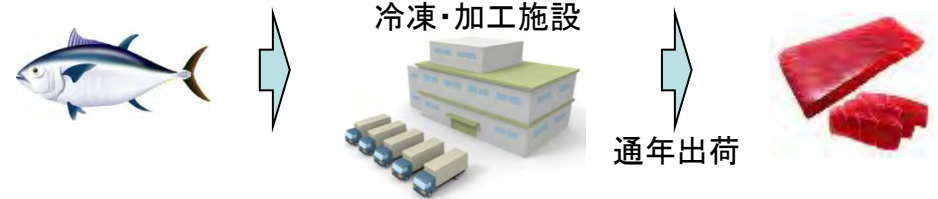
出資者：農林漁業成長産業化支援機構(10)

(単位:億円) みちのく銀行(2) 荘内銀行(2) 北都銀行(2) 東北銀行(2)
みずほ銀行(2) MHCC(0.2)

G P: みずほキャピタル

<投資実績>

 青森県 マグロの冷凍設備・加工設備を導入、販路拡大



青森県内№1の水揚げを誇る「深浦マグロ」のブランド化を推進する目的で冷凍加工場を整備し、通年出荷体制を構築。食の観光資源として、県内に通年で流通させる他、首都圏ベンダーへの直接販売、ネット販売等により販路拡大を図る。

ふくしま地域産業6次化復興ファンド



ファンド総額：20億円

出資者：農林漁業成長産業化支援機構(10)

(単位:億円) 福島県(2) 東邦銀行(4) 福島銀行(0.5) 大東銀行(0.5)
信金・信組(0.3) みずほ銀行(2.5) 福島リカバリ(0.2)

G P: 福島リカバリ

<参考> 海岸防災林再生に向けた国、NPO等の取組み

農林水産省：『みどりのきずな』再生プロジェクト

- 青森県～千葉県にわたる海岸防災林約140kmが被災。そのうち、平成24年度中に50km、平成24年度中に50km(計100km)について復旧・再生に着手。
- その際には、分別、無害化され安全が確認された災害廃棄物由来の再生資材も活用しながら樹木の生育基盤を造成。
- 地域の条件等を踏まえつつ、NPO、企業等による強力を得ながら植栽等を進める予定。

(1)第一回公募

(出所:農林水産省HPよりみずほ銀行東北復興デスク作成)

- ・平成24年11月に活動を希望する民間団体を公募 [対象地域:仙台市若林区(荒浜国有林)、対象面積1.72ha]
- ・14団体と平成25年2月に協定を締結

(2)第二回公募

- ・平成25年11月～12月に公募 [対象地域:名取市「台林国有林、対象面積約10ha」]
- ・12団体と平成26年2月に協定締結、平成26年春より植栽開始

県有林、市町村有林等については、都道府県や市町村の意向を踏まえて、今後調整。

公益社団法人 国土緑化推進機構 東日本大震災復興事業「緑の募金」

東日本大震災被災地域の復旧・復興に向けた用途限定の「緑の募金」で実施中。集まった募金を活用し、被災地域において防災林等森林整備、居住地域や学校周辺の緑化、避難所・仮設住宅等への被災者向けの間伐材等により製作した「組手什」寄贈等を実施。

(出所:公益財団法人国土緑化推進機構HPよりみずほ銀行東北復興デスク作成)

公益財団法人 オイスカ：海岸林再生プロジェクト10年計画～クロマツお助け隊

宮城県名取市で、地元住民が行う海岸林再生の取組を支援する取組みを実施中。一般市民や企業等から募集した寄附金等をもとに、現地での海岸林再生活動を支援。

<みずほ>も苗木の
寄付を実施

(出所:公益財団法人オイスカHPよりみずほ銀行東北復興デスク作成)

ご清聴ありがとうございました。

みずほフィナンシャルグループ
みずほ銀行